

ざ・ちゅうおう ぷれす

2018年11月号 第93号

発行：世田谷区立中央図書館
世田谷区弦巻3-16-8
TEL 3429-1811
FAX 3429-7436

図書館ホームページ（パソコン） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

（携帯） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぷれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。



中央図書館 開館 30周年

おかげさまで、中央図書館は今年で30周年を迎えました。



初日、10:00 開館直後の写真です



CDの棚に多くの人が集まっています



先頭の子が持っている水色の袋は…



開館記念に配布された図書館バッグです

中央図書館カレンダー

11月							12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1			1	2	3	4	5						1	2
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28		
							30	31																			

開館時間

火～日 10:00～19:00
月・祝・休日 10:00～17:00



は、中央図書館休館日です。

は、17時に閉館です。

THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS

特集：世田谷の図書館 ～これまでとこれからと

中央図書館が開館して30年。今回は世田谷区の図書館の歴史と将来を特集します。

【世田谷の図書館の始まり】

昭和21年5月、区内で「米ヨコセ」デモが発生するなど、戦後の食糧難の中に、東京都世田谷図書館が若林国民学校（現若林小）の教室を借りて開館されました。戦時中地方に疎開させた図書を集め、雑誌等は米軍の寄贈によるもので、貸出はなく館内閲覧のみでした。昭和25年に都から移管、名称も世田谷区立世田谷図書館となりますが、図書の所蔵数は僅か3,883冊※（現在最も所蔵の少ない松沢図書室の約1/4）でした。※昭和25年9月末

この後世田谷図書館は都立明正高校旧校舎、世田谷区民会館地階、旧松陰幼稚園と移転を繰り返し、現在の合同庁舎に至ります。

二つめの図書館は昭和26年4月に等々力駅下に玉川分室として誕生、玉川図書館に改称後数度の移転を経て、現在は尾山台図書館となっています。

【図書館サービスの拡大】

昭和40年代になると砧、梅丘、奥沢図書館が誕生。梅丘図書館は本格的な図書館専用施設として建築され、中央図書館ができるまで区立図書館の中心館でした。

昭和50年代は地域図書館と、福祉会館などの区施設内にまちかど図書室が次々と作られ、図書に親しむ環境を拡大していきました。

昭和54年には自動車図書館が誕生、荷台に図書を載せた車両が巡回し、図書館の無い地域に本を届けました。2週に1度、団地や校庭に1時間程度の訪問でしたが、積んでいった図書がなくなるくらい好評だったようです。



↑ 古い資料に残る当時の押印

システム化される前の貸出券 →

子どもでいっぱい自動車図書館
(車内は児童図書の書棚だった) →→



【中央図書館の誕生】

中央図書館は昭和63年7月に、弦巻こどもの遊び場、自動車図書館の基地などの敷地を利用して開館しました。これにあわせて図書館全館を結ぶオンラインシステムを構築し、各館の所蔵する資料がどの図書館からでもわかるようになり、館を越えた予約・貸出が飛躍的に便利になりました。借りた本をどの館でも返せるサービスは平成9年に始まっています。

利用者自身が資料を検索できる機器「OPAC」の設置は平成8年、平成15年には図書館ホームページを立ち上げ、所蔵資料の検索・予約などが自宅からできるインターネットサービスを開始しました。

【これからの図書館について】

図書館では、平成22年に策定した「図書館ビジョン～知と学びと文化の情報拠点～」に沿って、貸出・予約冊数や開館時間・開館日の拡充、地域図書室への図書館システム導入、「図書館カウンター」の新設、ホームページの刷新など、図書館サービスの充実・発展に取り組んできました。

そしてこの後、利用者の皆さんが、図書館が大きく変わることを、変わりつつあることを実感していただけることを、幾つかピックアップしてご案内します。

○ 暮らしや仕事に役立つ図書館

図書館のレファレンスを充実させるとともに、「パスファインダー」の発行や「図書館活用講座」「情報検索講座」などにより、利用者の自主的な図書館利用や学習を支援しています。（講座は地域図書館でも順次開催していきます。）

○ 自動貸出機の導入

資料管理にICタグを活用し、自動貸出機を導入していきます。これにより貸出処理時間の短縮や利用者のプライバシー確保が期待されます。世田谷図書館・経堂図書館に続き、平成31年度（2019年度）は中央図書館・砧図書館に導入予定です。今後数年間で全館に展開する計画です。

○ 梅丘図書館改築

築50年となる梅丘図書館では建て替えの計画を進めています。ワークショップでいただいた皆さんのご意見を参考に、羽根木公園と一体的な整備を進め、地域の活動・交流の拠点となるスペースやカフェを併設し、平成34年度（2022年度）の開館を目指しています。

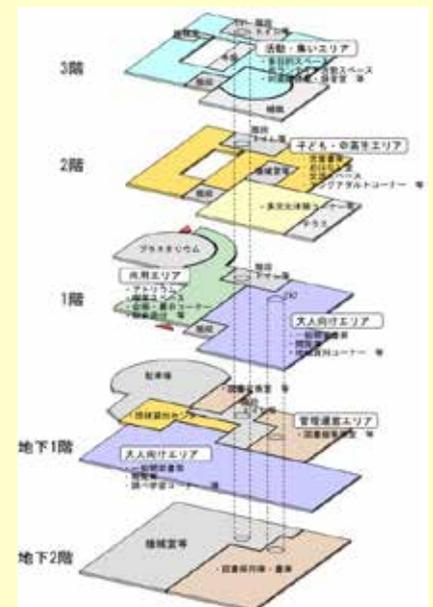
○ 中央図書館機能拡充

中央図書館では、教育センター機能の転出にあわせ平成34年度（2022年度）に施設全体を図書館として機能拡充する検討を進めています。平成28年度（2016年度）に基本構想報告書を取りまとめ、現在は基本計画を策定している段階です。

2階にオープンした多文化体験コーナーや、カフェ、プラネタリウムを継続して活用しつつ、一層の蔵書の充実や高度なレファレンスサービスの提供といった図書館ネットワークの中核機能の充実に加え、コミュニティ醸成のための賑わいの場の提供、若者や高齢者の居場所の提供、子ども図書館機能の充実といった学びの空間の拡充や設備の更新を図っていきます。

「中央図書館を拠点として多くの本に出会う世田谷」のビジョンのもと、「知と学びと文化の情報拠点」として、より魅力あふれる世田谷の図書館をめざしていきます。

引き続き皆様のご支援・協力をお願いいたします。



参考 中央図書館*ゾーニングイメージ (ケース2)

今回調べた地域資料等（中央図書館に所蔵しています。）

- ・図書館ビジョン～知と学びと文化の情報拠点～ ※図書館ホームページでも公開中です
- ・世田谷のとしよかん ・図書館だより ・中央図書館機能拡充基本構想報告書 GA0162
- ・世田谷区議会史 GA3184 ・世田谷区概観 昭和26年 GA3182
- ・DVD 風は世田谷 第7回 ※動画サイトYoutubeでも視聴できます

～夏休み、図書館で調べ学習～

第7回子ども読書リーダー（子ども司書）講座

1日目：7月21日（土）／2日目：7月25日（水）



「子ども読書リーダー」とは、その名の通り読書における「リーダー」として、学校で読書の大切さや面白さを広めたり、図書館で本の紹介や読み聞かせの活動など色々なことを行う子どもたちです。今年はこの講座を受講した52名が新たな子ども読書リーダーになりました。

1日目はインターネットではなく図書館の本を使って、自分の興味のあること、疑問に思っていることを調べる「調べ学習」体験をしました。ケーキの歴史、盲導犬、フラダンスなど、実に様々なテーマがありました。

2日目は数人ずつにわかれ、自宅から近い図書館で「おはなし会」に参加して、小さい子どもたちに絵本の読み聞かせをしました。本の持ち方や読むスピードなど、はじめての経験に皆戸惑っていましたが、アンケートでは「読み聞かせに来た小さい子達が面白そうに聞いてくれたので、すごく読みやすかった」など、おはなし会を楽しんでくれた様子でした。



*中央図書館では第3日曜日に、子ども読書リーダーのおはなし会を開催しています。その他活動の様子は、図書館ホームページ内子どもページの「子ども読書リーダー（子ども司書）」でも紹介しています。



朗読と音楽でお届けする

8月4日（土）開催

『いのりの石 ヒロシマ・平和へのいのり』

『いのりの石 ヒロシマ・平和へのいのり』（フレーベル館）の原作者こやま峰子さん（詩人・童話作家）と塚本やすしさん（絵本作家）をお招きして講演会を開催しました。

今回の講演会は、7月27日（金）～8月29日（水）1フロビーで開催していた『いのりの石』原画展と併せての開催だったため、原画展を見てこのイベントに興味を持ったという方もいらっしゃいました。朗読と音楽あり、鼎談（ていだん）あり、合唱ありと盛りだくさんな内容で、あっという間の2時間でした。

アンケートでは、「終戦記念日に近いこの日にふさわしい講演会で、朗読と音楽が非常に効果的でした」「いろいろな世代の方が参加され、真剣に聞かれていたのが印象に残りました」

「当時の石の見てきた風景が心にせまってきました。戦争のことを、次の世代に伝えていかななくてはならないとあらためて思いました」などの感想をいただきました。絵本の世界を感じながら平和について考えられるよい機会になりました。（参加者75名）



左から中村守孝さん（作曲家）、西山琴恵さん（歌手）。『いのりの石』のすばらしい朗読に皆引き込まれました。



左からナビゲーターの大倉利晴さん（放送作家）、こやま峰子さん、塚本やすしさん。

第9回読書の秋の講演会「落語と読書」



お待ちかね、入船亭扇治師匠による「落語と読書」を開催しました。まずは、古典落語「壺算」を一席。続いて新作の図書館落語「返却日超記憶法」で会場を沸かせました。中入りのあとは「二番煎じ」。真冬の噺ですが、アンケートには「深々と冷える感じがして、残暑がある時期とは思えなかった」との声もありました。扇治師匠の話力にびっくりです。
(参加者118名)

だれもいなくなった図書館でぬいぐるみは何をしていたのかな…?

第6回ぬいぐるみおとまり会 8月29日(水)～8月31日(金)



ぬいぐるみおとまり会とは、幼い頃から図書館に親しみを感じてもらおうと、アメリカで始まったイベントです。

お子さんたちは大切なぬいぐるみを図書館へおとまりさせてくれました。誰もいなくなった図書館の中で、おはなし会や本の貸出をしていたり、かくれんぼをしていたりする姿の隠し撮り(!?)に成功! そんなぬいぐるみたちの秘密を納めた写真を使ってカードを作成。お迎えにきたお子さんたちに渡しました。「〇〇ちゃん、どんなことをしていたのかな?」と興味津々でカードを見てくれている姿は、とても微笑ましかったです。

当日お手伝いに来てくれた、東京都市大学の学生さんたちも、楽しんで参加してくれました。



「どうぶつ図書館」を子どもコーナーに展示しています!

中央図書館開館30周年を記念して、絵本作家のつるたようこさんが幅5メートルの壁面いっぱいに「どうぶつ図書館」を描いてくださいました。絵の中では30種類の動物がそれぞれ読書をしています。なまけものが手にしているのは「学問のすすめ」、にわとりがロバと犬と猫に読んでいる本は「ブレーメンの音楽隊」、背中が涼しいゴリラが読んでいるのは外国語の本です。ユーモアたっぷりのやさしい絵をみていると何だか心が穏やかになります。ぜひ一度お立ち寄りください。



地域資料コーナー ～地元愛にあふれた本棚～

2020年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。世田谷区では1964年の1964東京大会に引き続き馬術競技が馬事公苑で行われます。地域資料コーナーで所蔵する東京2020大会に関する資料の一部を紹介します。



『東京2020大会の記憶が薫るまちー「馬事公苑界わい」まちの魅力向上構想ー』（世田谷区都市整備政策部都市デザイン課 2017年）

馬術競技の会場となる「馬事公苑界わい」の魅力向上の取組みについてまとめられています。

『うままちー世田谷2020ー』

（世田谷区都市整備政策部都市デザイン課 2016年）

馬術競技の会場となる馬事公苑周辺の歴史や情報をコンパクトにまとめたリーフレットです。



世田谷区スポーツ推進担当部オリンピック・パラリンピック担当課が取りまとめて作成した『2020年に向けた世田谷区の取組みー東京2020大会後を見据えてー』

地域資料コーナーでは、今後刊行される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連する資料を追加していく予定です。

作家クイズ

作家名と、その方の職業（過去・現在）を組み合わせてください。

- 1 池井戸潤・唯川恵
- 2 伊坂幸太郎
- 3 夏目漱石
- 4 海堂尊
- 5 隆慶一郎
- 6 横山秀夫・葉室麟
- 7 柴崎友香・恩田陸
- 8 司馬遼太郎
- 9 湊かなえ
- 10 又吉直樹
- 11 篠田節子
- 12 松岡圭佑
- 13 阿刀田高
- 14 ねじめ正一
- 15 佐伯泰英
- 16 上田秀人
- 17 森鷗外
- 18 貴志祐介
- 19 村田沙耶香
- 20 新田次郎
- 21 畠中恵
- 22 村上春樹
- 23 星新一
- 24 中江有里
- 25 黒岩重吾・加藤廣
- 26 島田雅彦
- 27 山本有三
- 28 筒井康隆・柳美里

- ア.漫画家 イ.戦車隊長 ウ.国会図書館司書 エ.銀行員 オ.脚本家
カ.歯科医 キ.喫茶店経営 ク.芸人 ケ.新聞記者 コ.気象庁職員
サ.教師(英語) シ.医学博士 ス.証券会社社員 セ.OL ソ.大学教授
タ.コンビニ店員 チ.教師(家庭科) ツ.カメラマン テ.催眠術師
ト.生命保険社員 ナ.軍医 ニ.SE ニ.劇団員 ネ.民芸品店経営
ノ.市役所職員 ハ.会社社長 ヒ.アイドル フ.国会議員

答え：1エ2ニ3サ4シ5オ6ケ7セ8イ9チ10ク11ノ12テ13ウ14ネ15ツ16カ17ナ18ト19タ20コ21ア22キ23ハ24ヒ25ス26ソ27フ28ヌ

新着図書案内



『疾風の女子マネ！』

まはら三桃著（小学館）

ちやほやされたい、できれば将来有望な男子を捕まえたい、そんな動機で運動部マネージャーを志望した新入生の湯田咲良。

放課後すれ違った陸上部の男子に見とれ、陸上部の門を叩きます。顧問にはこんなギャルはいらないと言われてしまいますが、なぜか先輩マネージャーから向いていると評価され、咲良は陸上部のマネージャーになります。

ある理由から部員たちの熱意についていけないと感じていた咲良でしたが、試合を観戦したことで、短距離リレーの魅力に惹かれていきます。

不純な動機で入部した咲良が陸上競技と向き合い、忘れようとしていた自分の過去への葛藤を抱えながら成長していく姿がまぶしい一冊です。

【請求記号 J赤ま】



『全国2954峠を歩く』

中川健一著（内外出版社）

日本に存在する3773の峠のうち歩いて行ける2954の峠を（この10年で）訪れた峠研究家（!）による、「峠を楽しむ旅」のガイドブックです。

本文では厳選された153峠を紹介していますが、巻末にはエリア別のリストがあり、その全容が示されています。

この本は、峠を「景色を楽しむ絶景スポット」ととらえるだけではなく、人々の暮らしと歴史が刻み込まれた場所＝「歴史を感じさせるタイムカプセル」ととらえ、峠それぞれの来歴や変貌も案内してくれます。

手にとって見れば、峠に行きたくなることでしょう。

【請求記号 2100な】

*地下1階Sフロアの旅行ガイドのコーナーにあります。



『鉄道ふしぎ探検隊』

河尻定著（日本経済新聞出版社）

私たちは日々通勤・通学・旅行といった様々な目的で鉄道を利用します。しかし、鉄道路線が建設された背景には「ここに線路を敷きたい」「駅の近くにこんな場所をつくりたい」などの想いと、計画を巡る利害の対立があり、その結果、様々な「ふしぎ」が生まれました。

本書では、新聞記者である著者が深く追究した鉄道の話、鉄道に関する地理や歴史の話が数多く掲載されています。本書を読めば、自分が普段使う鉄道や駅をいつもとは違った角度から見ることができるかもしれません。

鉄道に興味がある方はもちろん、ない方も、是非手にとってみてください。すぐに誰かに話したくなる面白い話題がたくさん詰まっていますよ。

【請求記号 6862か】



『江戸「仕事人」案内—時代小説がもっとわかる!—』

岡村直樹著（天夢人）

「仕事人」と聞くと時代劇に出てくる必殺仕事人を連想しますが、この本が取り上げる「仕事人」の指すところは違います。

岡っ引に相撲取り、貸本屋に花魁云々。江戸後期には驚くほど多様な職業がありました。時代小説は、それらの職業に携わる人たちの人生を見せてくれます。

本書は小説のあらすじと共に、江戸を生き抜いた人たちの様々な職業にまつわるドラマと、当時の仕事の実情を紹介します。歴史資料も掲載されています。

時代小説の案内本としても、江戸に暮らししていた人たちの生活を知る入口としても秀逸な一冊です。

【請求記号 9102.6お】



図書館からのお知らせ♪



図書館コンサート

「おはなしとうたがいっぱい♪」

歌手の西山琴恵さんと一緒に、歌ったり、手あそびやリズムあそびをしたりして、楽しい時間を過ごしましょう！

日 時：12月1日（土）午前11時～

*開場 10時30分～

先着 100名（申込不要）



中央図書館開館30周年記念事業

家庭読書の日記念講演会

「藤田浩子 昔ばなしを語る」

『おはなしおばさん』でおなじみの藤田浩子氏が昔話の世界を繰り広げてくださいます。

日 時：12月1日（土）午後2時～

*申込方法など詳細は、「区のおしらせ11月1日号」をご覧ください。



「ビブリオバトル」出場者募集！

「これは、ぜひ読んでもらいたい！」というお薦めの本がある方、チャレンジをお待ちしています！

日 時：1月19日（土）午後2時～

対 象：中学生以上〔区内在住・在学〕

*申込方法など詳細は、「区のおしらせ11月15日号」をご覧ください。



図書館活用講座（中級）

「国語辞典と遊ぼう！」

日本初の学者芸人サンキュータツオ（お笑いコンビ「米粒写経」）さんが、新たな！？図書館の活用方法を教えてください。

日 時：3月2日（土）午後2時～

*申込方法など詳細は、「区のおしらせ2月1日号」をご覧ください。



『クリスマス おりがみをおろう』

日時：12月8日（土）

午後3時45分～4時30分

対象：小学生（小学生未満は保護者同伴）

クリスマスにちなんだものをつくります。

何を作るかは当日のお楽しみ♪



『クリスマスおはなし会』

日時：12月19日（水）

午後3時30分～4時10分

対象：3歳から。親子でどうぞ！

本が大好きなサンタさんが、おはなしを聞きにくるかも！？



◆会場は、いずれも教育センター3階（中央図書館）です。

編集後記

大変個人的な事ですが、私、中央図書館開館の時、ココに勤務していました。その後、様々な部署に異動し、縁あって再度の配属となりました。以前、勤務していたとはいえ、30年前との違いにマゴマゴし、時代は変わったと痛感する毎日です。当時は新しい音楽媒体として注目のCDでしたが、今や音楽は配信サービスや動画などで聴く方が多い事と思います。今号の表紙写真をご覧ください！開館当日、CD書架に押し寄せる人達、特に若い人が目立ちます。どれだけ人気があったかおわかりいただける事と思います。現在では音楽だけでなく、図書も紙から電子に、スマホ1台で簡単な調べ物もできてしまいます。

時代が変わっても、変わらないと感じるのは利用者の方々の『知る事』、『学ぶ事』への熱意です。Webでの予約導入によって予約件数は増え、昨年度は全館で2,367,053件、平成14年度の4倍です（※）。

2ページでも変わり行く中央図書館をお知らせしていますが、次の30年後にはどう変わっているでしょうか？楽しみです。 ※経堂図書館、図書館カウンターの開設なども予約件数増加の要因です。